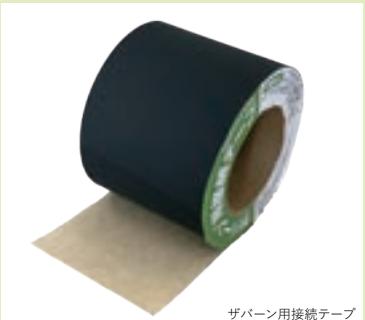


●関連商品のご案内

接続テープ

高い粘着性と耐久性で
幅広く対応。

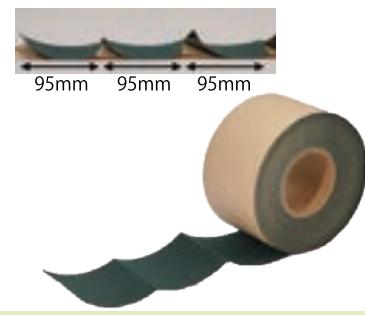
- 規格サイズ／
幅100mm×長さ20m／巻
- 色／グリーン



UBKパッチシール

ピンからの雑草抑制や
部分補修に、ご使用頂けます。
現場でカット不要の
シールタイプ。

- 規格サイズ／
95mm×95mm 200枚
- 内容量／1巻／袋
- 材質／アクリル粘着剤
- 定価(税別)／7,500円／1巻



固定ピン関係 下地の状態(固い、碎石が多い)により選定して下さい。

口径3mm
から4mmに
なりました！



厚手(1mm以上)の防草シートにも対応。



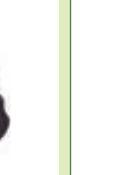
碎石が多い下地や、土壤が固い場合に推奨



コ型ピン/スチールピン/大頭釘に対応



コ型ピン/スチールピン/大頭釘に対応



- コ型ピン(緑色・形状:コ型)
■規格サイズ／直径4mm
幅30mm×長さ150mm
■内容量／50本／1袋
■定価(税別)／2,300円

- スチールピン(緑色・形状:コ型)
■規格サイズ／直径4mm
幅30mm×長さ200mm
■内容量／50本／1袋
■定価(税別)／2,800円

- L型アンカーピン
■規格サイズ
■内容量／200本／箱
■定価(税別)／10,000円／箱

- 大頭釘
■規格サイズ
■内容量／200本／箱
■定価(税別)／8,000円／箱

- ピンカバー
■規格サイズ
■内容量／50個／1袋
■定価(税別)／1,400円

防草くん/HYPER防草くん:砂利下用

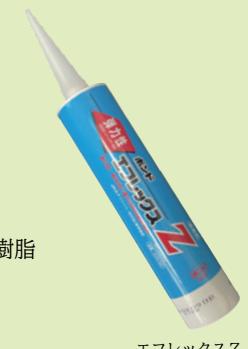
防草くん

- 規格サイズ／幅1m×長さ50m 幅2m×長さ50m
- 素材／ポリプロピレン(不織布)
- 質量／80g/m²
- 厚さ／0.4mm
- 定価(税別)／12,000円(幅1m) 24,000円(幅2m)



接着剤

硬化性に優れ、幅広い接着性
と弾力性(変形追従性)により、
屋内外の多岐にわたる用途に
ご使用頂けます。



- 内容量／33.3ml／本
- 主成分 变成シリコーン、エポキシ樹脂
- 標準使用量 8.4m／1本(口径7mm)

人工芝固定用防水両面テープ

- ブチルゴム防水テープ
■サイズ／
幅50mm×長さ15m
■厚さ／1mm
■定価(税別)／3,500円



留意事項

- チガヤは、貫通力が強くシートを突き抜ける場合がありますので、抜根除草等の前処理が必要となります。チガヤの根は非常にしつこいため、除草剤を使用して根を完全に除去することも効果的です。
- 本製品は長期間、直射日光の当たる場所での放置、保管はしないで下さい。直射日光にさらされ続けると劣化促進の原因になることがあります。
- シートの重なり部分や固定が不十分な場所から雑草が生えることがあります。また、シートの上に土や落ち葉が積もると、その上に新たな雑草が発芽する可能性もあります。
- テープ、シールを貼る際に、湿っていたり砂埃や汚れ、油分が残っていると、テープの接着力が低下する恐れがあります。
- 掲載されている写真や商品の色は印刷条件により実際の色と多少異なる場合があります。
- 商品の仕様・価格は予告なく変更する場合があります。
- カタログ記載の耐用年数は劣化加速試験データに基づくものであり、保証値ではありません。
- 本カタログに掲載されている価格は、消費税、施工費、送料は含まれておりません。
- 廃棄する場合は各自治体の指示に従って下さい。

畠中産業株式会社

本 社 〒635-0093 奈良県大和高田市磯野469-2
TEL:0745-52-5060 FAX:0745-52-9010

東京営業所 〒353-0001 埼玉県志木市上宗岡3丁目17番8号
TEL:048-472-2809 FAX:048-472-4309

HP <http://www.e-hatanaka.com> Mail info@e-hatanaka.com

取扱店



防草くんシリーズ ウルトラ防草くん 300G

- サイズ/重量
1m×30m/9kg(300g/m²)
2m×30m/18kg(300g/m²)
- 材質/ポリプロピレン
- 厚さ/1.2mm
- 定価(税別)
1m×30m/本 23,000円
2m×30m/本 46,000円

トップレベルの
耐候性と強度を実現
雑草問題を解決します。

曝露施工対応
防草シート
耐用年数
約10~12年

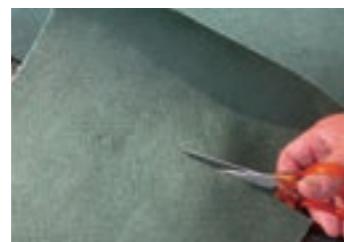
特長

◆安心素材

ウルトラ防草くんの素材であるポリプロピレンは、軽量で酸、アルカリ、溶剤に対して優れた耐性を持っています。また、化学構造上、加水分解に対して非常に安定しています。また、ニードルパンチ製造により繊維を層状に配列するため、透水性や通気性を保ち雨水等による水の劣化影響を受けにくい防草シートです。

◆施工性

ロールの支管の直径を細く軽量化。持ち運び、施工性にも優れています。ハサミやカッター等で簡単にカットが可能で切り口がぼつれたり、ほこりびることはあります。



◆透水性

ウルトラ防草くんの透水性は、雨水や水やりの水がシートを通過して地面に染み込んでいきます。これにより、土壤の水分が保持され、植物の根が水分を吸収しやすくなります。また、水はけが良いため、根腐れのリスクも減少し成長を妨げません。

紫外線への耐候性

ウルトラ防草くんは、表層での曝露施工でも長期に渡り使用しても耐える事が出来るように、独自の特殊配合により紫外線への対応性を付与し、太陽光の約20~30倍の紫外線量を照射し厳しい耐候促進試験を実施しています。約15年相当の照射後でも、一般的な砂利下用防草シート(当社製品:防草くん/ハイパー防草くん相当)の初期強度と同等の強度をキープしています。

紫外線劣化加速試験内容（大阪産業技術研究）

試験対象：ウルトラ防草くん 300g(2024年6月製造)

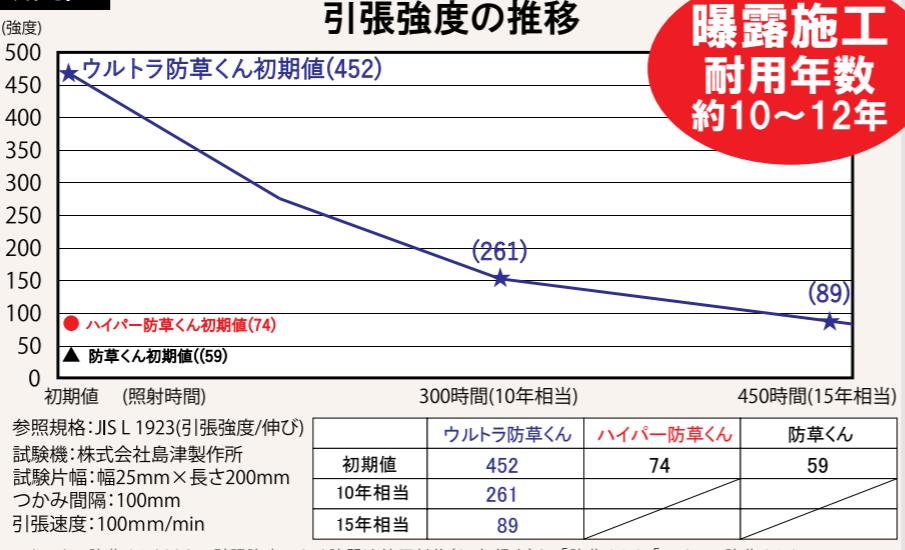
試験機：アイスーパーUVテスター

曝露時間：450時間(15年相当)

ブラックパネル温度：63℃、湿度：50RH



アイスーパーUVテスター
(岩崎電機株式会社製)



ウルトラ防草くん
(300g/m²、厚さ 1.2mm)



ハイパー防草くん
(120g/m²、厚さ 0.6mm)



防草くん
(80g/m²、厚さ 0.4mm)

防草くんシリーズ(防草シート)

防草くん	ハイパー防草くん	ウルトラ防草くん
厚さ	0.4mm	0.6mm
g/m ²	80g	120g
耐用年数(曝露)	—	—
砂利下	○	◎
砂利駐車場下(砂利10cm)	△	○
人工芝下	○	◎
		半永久
		半永久
		半永久

※耐用年数は劣化加速試験データに基づくものであり、保証値ではありません。

ウルトラ防草くん300G 強度試験データ(カケンテストセンター) 2024年4月24日

試験項目	試験結果	試験方法
単位面積当たりの質量(g/m ²)	310.5	JIS L 1096A法
厚さ(mm)	1.27	JIS L 1096A法 一定圧力: 0.7kPa
引張強さ(N)	たて よこ たて よこ	JIS L 1096 A 法 (カットストリップ法) 引張速度: 20cm/min つかみ間隔: 20cm 試験片幅: 5cm
	42.1 70.1	
引裂強さ(N)	たて よこ	JIS L 1096 A-1 法 (シングルタング法) 引張速度: 10cm/min 試験片幅: 10cm たて方向へ引裂をたてした
	153.0 169.1	
透水係数(cm/s)	1.33×10^{-1}	JIS A 1218 準用 透水面積: 1 cm ² 透水時間: 60 秒 水頭: 10cm
貫通抵抗力(N)	1899.6	JIS L 1096 破裂強さ B 法準用 押圧速度: 10cm/min JIS L 1096 破裂強さ B 法の治具を用いて測定した
破裂強さ(kPa)	破裂せず (2400kPa以上ゴム圧含む)	JIS P 8112 準用 試験室温度湿度: 20℃、65%RH JIS L 1096 の試験機使用
遮光率(%)	99.99 以上	JIS L 1055 A 法 試験片装着前照度: 10000Lx 試験片光源側: 表面

※各数値は測定値であり、保証値ではありません。

使用用途…太陽光発電所、法面、公園、砂利下、

空き地、庭園、人工芝下地、墓地等

防草くんシリーズのウルトラ防草くんは、これまでの「防草くん」・「ハイパー防草くん」では対応できなかった曝露施工を可能にするために開発した防草シートです。紫外線劣化防止剤と独自の製造方法により、紫外線への耐候性と強度を大幅に向上しました。強力な雑草の抑制効果と同時に、透水性にも優れており樹木や植栽などの成長を妨げません。

施工方法

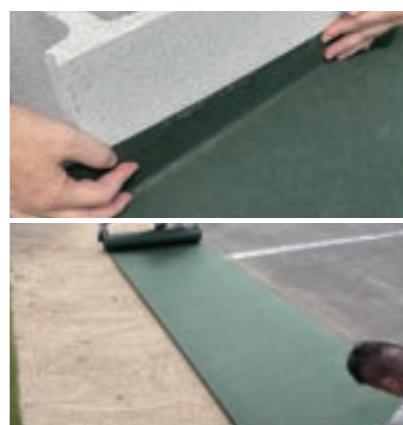
1. 整地

敷設する場所の雑草や根っこを取り除いて下さい。取り除いた施工面を平滑に均して下さい。土壤が柔らかい場合はしっかり転圧する事を推奨します。



2. シートの敷設

ウルトラ防草くんを施工場所の壁側から敷設して下さい。立ち上がり箇所は、50mm～100mm程度立ち上げます。



3. シートの固定

位置が決またらコ型ピン、もしくはスチールピンで固定して下さい。(目安:約7本/m²)
ピンカバーと併用して固定する事を推奨します。
下地が固い場合は大頭釘、L型アンカーピンで固定して下さい。



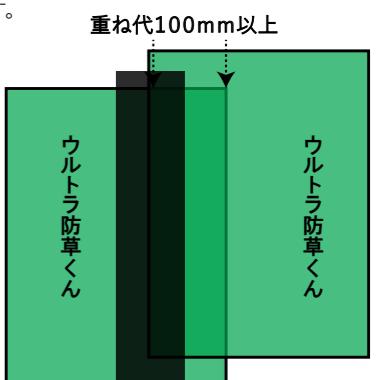
4. パッチシールを貼る

ピンを打ち終えたら、固定部の僅かなすき間からの雑草を防ぐために、UBKパッチシールを貼ります。



5. 2列目以降の重ね代の処理

2列目を敷く場合は1列目のシートに100mm以上の重ね代を設け、重ね代部分にピンを打ち込んで固定します。次に重ね代部分を塞ぐように接続テープを貼り、ローラー等で転圧をかけて下さい。
※転圧が不十分な場合、接着不良の原因になりますのでしっかり転圧して下さい。砂埃や汚れ、油分が残っているとテープの接着力が低下する恐れがあります。



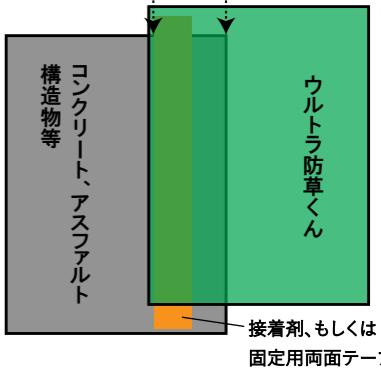
6. 完成

貼り終えたら隙間なく貼れているか、接続テープやパッチシールの貼りが甘くないかを確認して下さい。



端部の処理について

コンクリート、アスファルトや立上りがり部分に固定する場合は、下地の油や砂埃、コケ等の汚れを取り除き、よく乾燥させてから接着剤や両面テープで固定して下さい。端部からの雑草を抑制し、風の吹き込みによる捲れや剥がれを防止します。



長期間維持するためにも、重ね代や端部の処理を行なう事が重要です。